

○三陸北部森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和5年9月26日（火）に岩手県下閉伊郡岩泉町の下大板屋国有林で開催された「令和5年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇空のなか、林業関係団体や県担当者、署管内の林業事業体など60名を超える参加を得て開催されました。三陸北部森林管理署長の挨拶、署担当者から現地概要の説明に続いて、青森事務所からは需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、広葉樹の定尺にこだわらない一般材の採材や作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」、労働安全等について協力をお願いし、採材の検討に移りました。

事前に試供木として準備したカラマツ1本、広葉樹2本を対象に6班に分かれ各班それぞれの試供木について採材検討を行いました。検討後、それぞれの班からの採材案の説明があり、カラマツについては(株)ウツティかわいより、広葉樹については岩手県森林組合連合会よりそれぞれ採材の解説と木材市況等の情報提供がありました。参加者間で2mに採材するか4mに採材するかなど意見が違うものもありましたが、現地での解説を受け、採材の認識を共有することができました。その後、根腐れしていた広葉樹1本について実際にどこまで腐れが入っているのか、造材して確認しました。木によって腐れ方は異なりますが、今回の試供木は腐れが深く、この程度腐っていることもあるという認識を共有することができました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(カラマツ採材の検討)



(腐れの深さ確認)